

ひよ



レッツウォーキング!

日吉一帯を起こす会（会長・中川博之）主催の「レッツサマーウォーキング」がコロナに負けるな！日吉をぐるっとウォーキングが、八月の毎週土曜日（十五日を除く）に開催されました。参加者の健康増進、地域住民のふれあいのもとより、活性化応援プロジェクトを活用し参加者に朝ご飯用の弁当を配布することで、地域飲食店等を応援する意味合いも込めて企画されました。

「日吉をぐるっと」というイベント名のとおり、一回目は父野川方面（参加者・九十八名）、二回目は上鍵山方面（参加者・百名）、三回目は日向谷方面（参加者・八十四名）、四回目は上大野方面（八十名）をウォーキング。午前六時三十分から、まずは夏の朝の定番ラジオ体操で体をほぐしスタート。参加された皆さんは清々しい日吉の朝を自分のペース歩いていました。でも、早朝とはいえ朝陽のあたる場所を歩くとさすがに汗が滲んできますが、リタイヤする人もなく、皆さん無事ゴールしお弁当を持って帰られました。四回全てに参加された皆勤賞の方は三十三名おられました。

わんぱくフォト



日吉わんぱくスクール

八月十七日(月)に、今年度最初の日吉わんぱくスクールを開催しました。例年なら小学校の夏休み前に二回程度開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、第一回目の日吉わんぱくスクールが夏休みになってしまいました。また、バスで移動しなくても開催できるよう、今回は上大野の川原(勝山荘下)でデイキャンプを行い児童十七名、保護者スタッフ等十四名、合わせて三十一名の参加があり、賑やかな日吉わんぱくスクールになりました。

初めに、川の一部を網で囲いアマゴを二百五十匹放流し、釣りや掴み取りを楽しもうとしましたが、朝、放流したばかりのアマゴは、釣ろうとしても目の前のエサに見向きもせず、釣れる気配が全くなかったため、釣りは早々に諦め、掴み取りに変更しました。児童十七名全員が川に入り掴み取りをしたので、沢山泳いでいたアマゴは三十分もすると殆ど姿を見ることがなくなり、すごい勢いで掴み取りをしていました。

キャンプでもう一つの楽しみなのが昼食です。キャンプらしくバーベキューをしましたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、フタツツが食材を焼き、取り分け、児童がトング等に触ることがないよう配慮し、感染防止にも努めました。

昼食後は、川で泳いだり、ゴムボートに乗り川遊びを満喫していました。また、網から逃げ出していたアマゴを見つけると、魚取り網を使い上手にアマゴを捕獲していました。

参加した児童は、袋一杯にアマゴを持って帰ったので、多くのご家庭の食卓にアマゴが並んでいたのではないのでしょうか。

今回の日吉わんぱくスクールが、夏休みの楽しい思い出の一つになっていれば幸いです。

日吉いきいき講座参加者募集!

日吉歩こう会

令和2年度第2回目の日吉歩こう会を開催します。

今回は、久万高原町にある四国霊場第45番札所岩屋寺をゴールに約4.3kmを歩くコースです。

日時：令和2年10月16日(金)

※雨天中止

場所：岩屋寺(四国霊場第45番札所)

日程：8:30 日吉支所出発

15:00 日吉支所到着

※今回は途中で弁当の購入ができませんので、ご持参ください。

寄せ植え教室

令和2年度第1回目の寄せ植え教室を開催します。

お友達やご近所お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

教室で作った寄せ植えを、玄関やベランダに飾って家を華やかにしませんか。

日時：令和2年10月30日(金)

午後7時から

場所：日吉住民センター 図書室

参加費：2,500円程度(材料代)

講師：仲口 由美先生

申込期限：10月16日(金)

編集後記

今年の夏は、猛暑続きで農作業等される方にとっては大変厳しい夏だったことだと思えます。やっと過ごし易い気候になり『食欲の秋』を満喫したいものです。

日吉の人口

8月末人口

1,182人

(△4人)

増減は前回比

男 545人

女 637人

639世帯

日吉地区のための「日吉夢基金」

日吉地区住民の生活文化の振興、社会福祉の増進及び青少年の健全育成を図るための事業資金に充てる「日吉夢基金」に、ご寄付をお願いします。

ただいま、おかえりって言いあえるまちに

みんなで 広げよう、 シトラスリボン プロジェクト。



当たり前と思っていた「ふだんの暮らし」を揺さぶっているCOVID19。今や、どこにいても何をしていても、いつだってただだって感染のリスクはゼロではありません。

感染拡大を防ぐためには、さらなる「行動変容」が必要になると同時に、だれもが、少しでも心のびやかに暮らせるようなまちのあり方が、今こそ問われているのかもしれない。

ウイルス感染拡大阻止は、もちろん大事です。経済対策も大事です。でももうひとつ、忘れてはならないことは、たとえウイルスに感染してしまっても、地域の中で笑顔の暮らしを取り戻せるということの大切さです。

「ただいま」「おかえり」。お互いにそんなふうに言いあえる、受け止める空気であってこそ、安心・安全が守られるまちなのだと思います。わたしたちの暮らしを守るために日々奮闘しておられる方々への感謝も込めて、「ただいま」「おかえり」って言いあえるひとの輪を、ここ愛媛から。

Citrus Ribbon PROJECT

シトラス色（柑橘をイメージ）のリボンや紐で、三つの輪をつくる「シトラスリボン」。このリボンやロゴを付けて賛同の気持ちを表現しています。全国に活動の輪が広がっている様子は、下記サイトでご紹介。シトラスリボンの作り方なども掲載しています。

Facebook : citrusribbonfromhime

お問合せ : citrusribbonfromhime@gmail.com(ちよびっと19+)